

静岡県静岡市

PPP/PFI手法を活用した道路橋更新

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 橋梁 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

本市が管理する道路橋は、架橋から50年以上経過したものが全体の約70%を占めているため、今後は、これまでの長寿命化の取組を継続させるとともに、計画的かつ効率的な更新を行う必要がある。そこで、PPP/PFI手法を活用した道路橋更新スキームを検討し、更新事業費の平準化や更新を起点とした包括的管理の導入を図る。

①解決したい課題

【本市の概況】

- 人口：約67万人
- 面積：1,411.93km²
- 管理道路延長：約3,200km

【管理道路橋の概況】

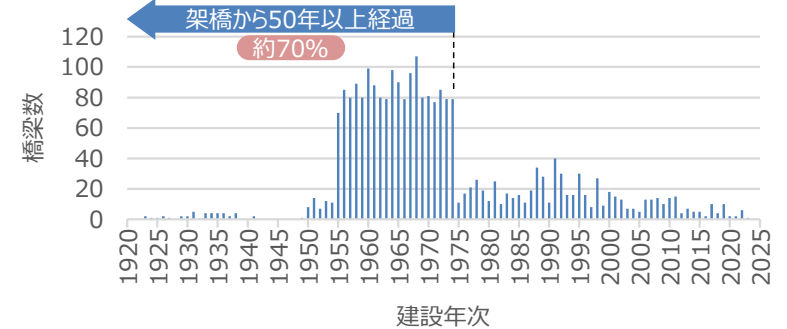
- 道路橋数：約2,600橋
- 健全性診断結果（2019～2023年）
 - I判定 23.1%
 - II判定 67.6%
 - III判定 9.3%
 - IV判定 0%



【背景及び課題】

- これまで、道路橋の長寿命化に取り組んできたことで、1巡目法定点検（2014～2018年）完了時点におけるⅢ判定道路橋15.2%は、2巡目法定点検（2019～2023年）完了時点には9.3%まで減少させることができた。
- しかし、本市の管理道路橋は、1950年代後半から1970年代前半の高度経済成長期に集中的に整備されており、現在、架橋から50年以上経過したものが、全体の約70%を占める状況となっている。
- 今後、更新が避けられない老朽橋が、同時に顕在化することが懸念されるため、これまでの長寿命化の取組を継続させるとともに、計画的かつ効率的な更新を図る必要がある。
- そこで、PPP/PFI手法を活用した道路橋更新スキームを検討し、更新事業費の平準化や更新を起点とした包括的管理の導入を図りたい。

本市が管理する道路橋の建設年次（※建設年次不明を除く）



②課題解決の方向性等

メンテナンスフリーとなる高耐久材料等の活用によるLCCの低減

- 更新事業はインシャルコストがかかるが、近年、メンテナンスフリーを目指して開発されている高耐久材料や新技術を活用することで、ランニングコストを大きく縮減できる可能性がある。
- 既設道路橋を補修して使い続けるケース、従来の材料や技術で更新するケース、高耐久材料や新技術を活用して更新するケースそれぞれのライフサイクルコスト（LCC）を比較し、有効性を検証したい。

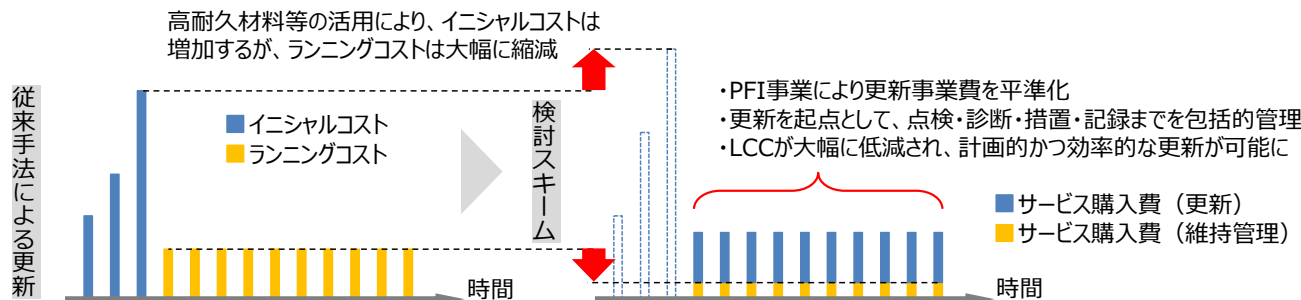
PPP/PFI手法による更新事業費の平準化

- 施設整備等で用いられているPPP/PFI手法を道路橋更新に導入できるか否かが検討したい。
- 特に、PFI手法を導入することができれば、更新事業費を平準化できるため、PFIの検討を課題解決の軸としたい。
- 施設整備等では、土地や建物が資産となることで資金調達できていたため、道路インフラを資産として捉えられるか否かが課題となる。

更新を起点とした包括的管理の導入

- PFI手法におけるサービス購入期間において、点検・診断・措置・記録までのメンテナンスサイクルを民間事業者に行ってもらい、更新を起点とした道路橋の包括的管理を導入したい。
- 本市では、別途、既設道路橋についても包括的管理の導入を検討していく予定があるため、本スキームとの両立が課題となる。

③課題解決のイメージ・効果



その他

【シーズ提案に対する要望】

- 検討したスキームを試行し、更新事業を行うことを視野に入れている。そのため、架橋から50年以上経過した道路橋の中から、試行対象道路橋を抽出する作業をお願いしたい。
- 高耐久材料等の活用においては、開発中又は開発予定の材料や技術ではなく、実例があるものを希望する。

【懸案事項】

- 更新事業に際しては、補助・交付金を活用しなければならないため、更新スキームの検討にあたっては、国の要綱等に則す必要がある。